

# む

# のうやく



【無農薬】

## 農業を通じて生命の循環を取り戻す 静岡市

食の安全性に対する関心が高まる中、静岡の山間で無農薬栽培に取り組む若き農業集団がいる。2010(平成22)年に設立した「アースグリーンファーム」では、化学合成肥料や化学農薬、除草剤などを使わず、無農薬の米作りや野菜の栽培に取り組む。代表の杉原誠二さんは、介護施設でケアマネジャーの仕事をしていた経験から、お年寄りの病気や体の不調を目の当たりにし、食と農と命が正しくつながる仕組みを作りたいと一念発起。農業生産法人を立ち上げた。「食はすべての根源。生きる`源、`になるような作物を提供したい。そのためには微生物、虫、動物と調和しながら、正しい循環の中で作物を作ること



が大切」という。「今僕たちがやっていることは、必ず地球環境を変える一歩になる」と熱く語る杉原さんが、小さな米粒の向こうに映し出す未来の地球の姿に、夢を抱かずにはいられない。



「ありがとう」の気持ちが詰まった米、野菜  
アースグリーンファーム

Note

☎054-368-4131 <http://earth-green-farm.jp/>

※アースグリーンファームの野菜は、NEOPASA静岡(上下)のしずおかマルシェにて販売



新東名 NEOPASA静岡(上下) ※一般道から訪れる場合は、ぶらっとパークが便利



「植物は生きものなので、作り手の気持ちがダイレクトに伝わるんです。農作物を美味しくするのは感謝の気持ち。毎日農作物や土に向かって“ありがとう”って呼び掛けています」と笑顔で語る杉原さん。自社農園で作る無農薬野菜の販売の他、有機栽培、減農薬栽培、特別栽培を手掛ける静岡県内約70軒の農家と提携し、仕入れ販売も行っている。新東名のNEOPASA静岡(上下)で「みなもと」ブランドとして販売中。

